

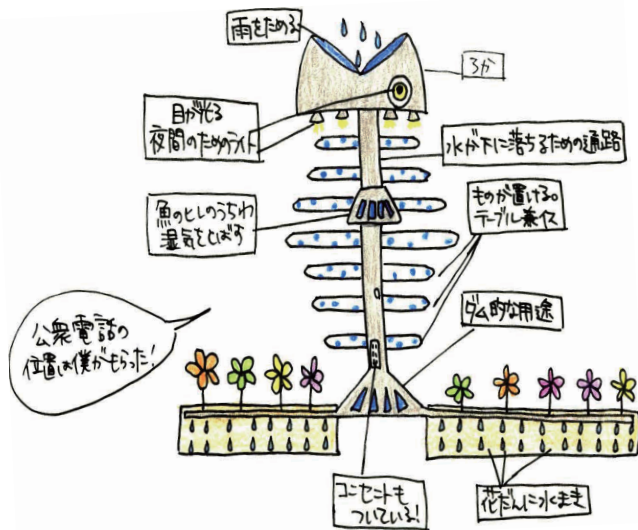


TITLE:

「さかなのあめよけ」

山田 梨菜

千葉県市川工業高等学校



私は、傘とかかっぱではなく、雨やどりの場を新しい建築物として考えました。ただ屋根のあるスペースではつまらないと思ったので、魚の形にして可愛くしました。魚の骨に腰かけたり、休憩する場としても使用できます。個人個人が傘を持ってしまうとぶつかってしまいます。時間に余裕がある人は、雨やどりして、急いでいる人は傘をささうごけば道も少しは空くでしょう。こんな建築物が町にあったら素敵ですね。

公共電話のような存在になります!!

